

鬼面 鉦鼓耳 遠山 アマヅラ龍の事 松カサ 茄子 サイ貴紐の事なり

〔茶道釜蹄三〕釜作者之部

蘆屋 筑前、明惠上人始て釜を命ずといふ、

天貓 小田原河内天貓は、茶釜師にあらず、河内天貓は文字天明也

關東 天貓の脇作、其外江戸作を一同に關東作といふ、天下一西村道仁は紹鷗の釜師なり、與二

郎の師といふ、紹鷗好きくら川といふ釜あり、銘物なり、道仁の作、

與二郎 利休の釜師なり、辻與二郎實久といふ、弟子に彌四郎藤左衛門といへるあり、上手ゆへ、

釜師にて此兩人の作を與二郎と極む、法名一旦、

淨味 先祖を名護屋越前入道善正といふ、東山時代、此後詳ならず、子孫に至て、大佛の鐘を鑄る

者を、初代淨味といふ、○中略

二代淨味 昌乘齋と號す

三代淨味 三典といふ、原叟時代なり、三典淨味は世俗に云足切淨味是なり、是より後は庄兵衛

代作す、但し淨味の弟子なり、初代より今に至り、此印を用ゆ、

道彌 道仁の弟子すじ、大西彌一郎といふ、江岑時代也、此間に道運、道有あり、不詳、

道也 道彌の子彌三右衛門といふ、後道治ニ改む、原叟時代、

道爺 道也の子彌三右衛門といふ、原叟時代、如心時代へかゝる、百佗、達摩堂は原叟好、累座富

士は如心好なり、

寒雉 初代淨味弟子宮崎彦九郎と云、加州利長公へ被召出、御釜師と成る、其家今にあり○中略

九兵衛 西村九兵衛といふ、道彌親類、元伯時代なり、

淨林 姓は大西淨味の弟子なり、